



成人向  
18禁  
FOR ADULT ONLY







強くてカッコよくて勇敢で  
無カでドジでいつもみんなに迷惑ばかりかけてる私を  
いつ、どんなときだって守ってくれる

ちよっぴり怒りんぼでいけずだけど  
ほんとは私なんかより、ずっと優しくて可愛い女の子

私にはないものをたくさん持っていて  
だけど、弱いところも私と同じくらいたくさんあって  
それでも気高く胸を張って前を向いている彼女のことが

気づいたら、好きになっていたのです





釜を掻き回すだけの  
作業の何が楽しいのか  
さっぱりわからないが

今日も今日とて、  
私は彼女のアトリエに  
来ていた



その楽しそうな後ろ姿を  
見ていると、なんだかすこ  
ろ落ち着いて、暖かくなる――







ふあ……

す……



あ

……しまった  
寝てた……のか

なんか暖かくて……  
……いい匂いがする





まあいいか  
暖かいしなんかこの子  
ふわふわしてて  
気持ちいいし……



道理で……



………

もぞもぞ



あれ、この子……  
起きてる??



というか  
ナニしてんの……?

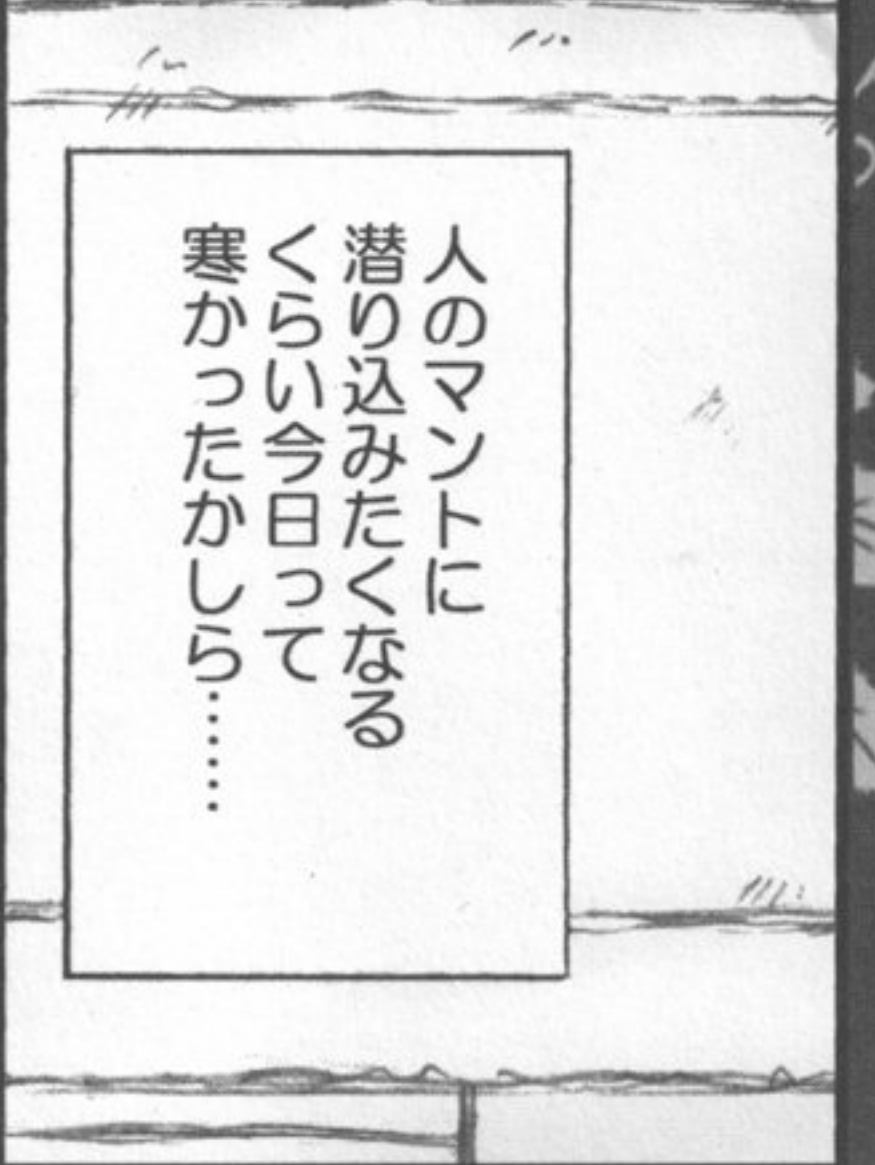
はー…

はー

あ……

はー

はー



人のマントに  
潜り込みたくなる  
くらい今日って  
寒かったかしら……

















はう……  
ごめんなさい……

フー~~~~

汚れたのは別にいいわよ  
それよりなんで  
こんなこと……

ミミちゃんのこと  
大好きだからっ……  
居眠りしてるミミちゃん  
見てたらなんだか  
我慢できなくなって……!



!

女の子同士でこんなもの……  
変だって、嫌われちゃうって  
わかってたのにっ……!!

ふんふん





……  
ちゃん……？



ちゅらうらうら

みゅっ……！



私が勇気がなくて  
出来ないことをこんな  
あっさりやってのけられて

また先を越されて  
無茶苦茶  
悔しいわよ！



ん……

んむい

だから、  
あなたの勇気に



私は逃げず、今から  
全力で応えることを  
約束するわ













トトリ……

ドキ  
ドキ

はい

ドキ

はい

はい



私も

ふあー



はい

はい

あー

あー

ふあー





こんな...

トトリの舐めてるだけで、もうー

ドキ  
ドキ

気持ちよくなるなら二人一緒にじゃないと...公平じゃないわ

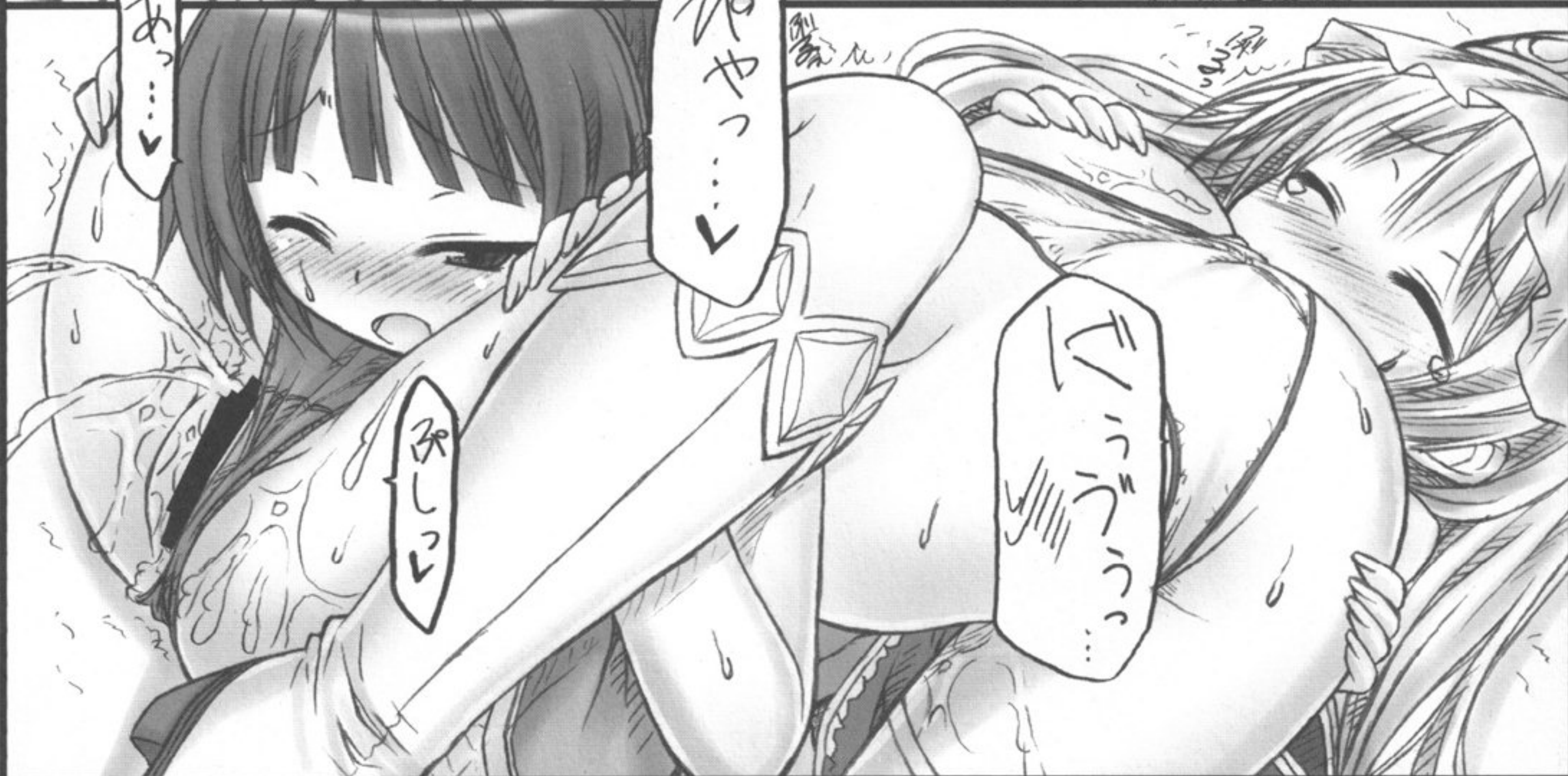
トトリっ...

うんっ...私もミミちゃんにしてあげたいっ...

んあ...ミミちゃん...

んんんんん









あはっ...  
あはっ...  
あはっ...

あはっ...

あはっ...

あはっ...  
あはっ...  
あはっ...

あはっ...



あはっ...

あはっ...

あはっ...

あはっ...

あはっ...  
あはっ...  
あはっ...

あはっ...  
あはっ...  
あはっ...

あはっ...

あはっ...  
あはっ...  
あはっ...





あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

おもちよおもち  
私もち...らぬっ  
あーっ  
あーっ



あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

おもちよおもち  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

ロケッ  
ロケッ  
ロケッ  
ロケッ  
ロケッ  
ロケッ  
ロケッ  
ロケッ  
ロケッ  
ロケッ

あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ





はー...

はっ...  
はっ...

はー...

ミズミちゃん...>

びゅん



うん  
これからは私たちは  
恋人同士...  
でいいんだよね...

ち、ちゃんと  
応えたからねっ...  
あなたの気持ちにっ...



は...?

私のことも  
「トトリちゃん」  
って呼んで欲しいな...

こ、恋人同士に  
なったんだから

ああ

ああ



だって私、今日だけで  
二六回も「ミミちゃん」  
って呼んだよ？

なんでそんなの  
数えてんのよ  
あんたは……っ

そ、そのぐらい  
お安いご用よ……

ト……

トト……

トトリ……ち……  
ち………っ

この日から私達は恋人同士となり――

やがて世界最強の百合冒険者と呼ばれるに至るが、それはまた別のお話。

ミロくん  
かみみみ  
あまみみ!!

ミミちゃん  
あまみみ  
あまみみ



初めは、変な奴だと思った

私がどんなに悪態を吐いても、沈んだかと思えばすぐに笑って見せるし  
どんなに突っぱねても、子犬みたいにまとわりついてくる

見るからに、か弱くてドジで危なっかしくて  
守ってあげないとこっちが不安になるような奴だけれど  
目的のためにただひたすら真っ直ぐ、懸命に前へ進もうとするその小さな姿に  
私はきっと、生涯を賭してもこの子には勝てないだろうと思い知った

素直になれなくて、つい怒鳴ったりしてしまうけれど  
今では、彼女のことを親友として、誇りに思う

なんて、綺麗事はやめにしよう  
もう、友達じゃ嫌だ

願いが叶った今日この日のことを  
十年後、二十年後  
死の間際に思い出しても、笑っていられますように





- 夏コミから11月末にかけて描いたトトリのアトリエ関係の絵を集めてみました。  
トトリちゃんよりミミちゃんの方が個人的に描くのが楽なので  
ついつい多めになってしまいます。
- 右上は今この本のイメージにもぴったりだと鬼ったので、  
裏表紙に採用しています。  
というかこれが表紙でも良かったんじゃないかと……。







- 同じく夏コミ～11月までのトトリ関係以外の絵。DIVA衣装のみくちゃんはまだ描きたいです。シャロンさまも、QMA新作でアロエ復活したので、カップルで描いてあげたいかも……。

- およそ一年ぶりぐらいにオリキャラの来世を描きました。大幅にイメージチェンジを狙ったつもりが、周囲からは何も変わっちゃいねえとの声が多く……。そのうち来世で一冊本を出したいですね。





## あとがき

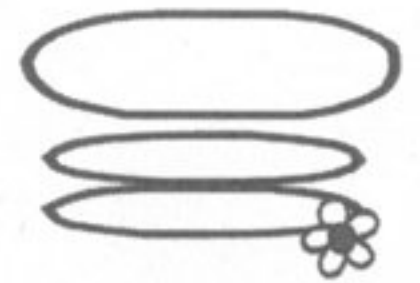
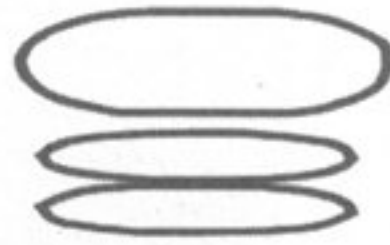
初めに言っておく。引き返すなら今のうちだ。

2006年の夏から個人誌を出し始め、今回で通算13冊目となります。コピー誌などを含めれば16~7冊程度にはなるでしょうか。およそ五年間の活動の軌跡が、これらには詰まっているわけで個人的にももの凄く感慨深いものがあるのですが、今回俺がこの場をお借りして語りたことはそんなどうでもいいことではなくぱんつについてなのです。もう一度言います、引き返すなら今のうちです。改行無しでこのまま突っ走ります。いいですか？ いいですね？ それでですね、女の子のぱんつは何故にあんなに可愛らしいデザインなのか、そしていい匂いがしそうなのかについて全力で探求していきたくところなのですが、辿り着いた結論は自分の場合はどうも二次元補正が強いということが分かりました。と言いますのも、二次元において女の子自身がリアルよりも可愛らしく描かれていることは多々ありますが、ぱんつがリアルよりも生々しく、素敵に表現されている例はあまり多くないからです。ぱんつはなんだかんだ言って、リアルが一番魅力的だと思うのです。あの質感、多種ある生地、ゴムの伸び具合、タグの縫い目に至るまで、何ひとつ二次元に適う要素はありません。逆に何故、二次元の女の子がリアルより良しとされるのかというと、それは男性の考え得る範囲において（一部、女性においても）限りなく理想的な女の子像だからです。汗をかいても臭くならない、無駄毛は生えない、体型も完璧で、胸の大きさまで好みに合わせて自由自在、万人に同じ表情が向けられ、性格までもが各人の趣向に合わせて多種多様に存在する二次元文化に、現実の女性に勝てる道理などあるわけがないのです。理想は最強ですから。だから両者は別物だと考えるのが正解であって、リアルにしかない魅力や良さも当然あるわけですから、決して二次元だけが圧倒的に優れているわけではないのです。むしろ優劣で言えば、「存在を持たない」という点において間違いなく劣っているのです。ここで話をぱんつに戻しましょう。人によってぱんつに求めているものは、きっと大きく異なると思います。ただ擦りつけられれば何でもいいという実用性重視な方や、そのデザインの可愛らしさからアクセサリー感覚で愛でている方、女性の排泄物の付着している様子に興奮を覚える方——同じぱんつフェチでも、ニーズは数えればキリがないほど様々な属性があると推察します。しかし恐らくほぼ全てのぱんつフェチが立ったであろうスタートラインは、きっと幼少時のスカートめくりや偶然のパンチラ、ベランダに干してある家族や同級生のぱんつ、自分が着用しているものとは明らかに異なる、こんなものどうやってはくんだと疑問に唸り喘ぎたくなるほど小さくて可愛らしい布切れに、思春期の訪れより一足先に覚えてしまったときめきが出発地点だったのではないのでしょうか。そしてそのときめきは、性の目覚めよりも早い段階で心の奥深くに芽吹き、成長するにつれて根が広がって行くのです。どうして女の子はぱんつを見られると恥ずかしいのにスカートなどというものを着用するのか、ぱんつは汚れたりしないのか、汚れていたとしてそれは学校の椅子やら何やらに付着していいものなのか、やはり女の子はトイレなどと無粋なものはしないのではないのか——そういった少年時代ならではの疑問と昂揚は大人になってからも根強く残っており、どうしても女の子のぱんつに対してそういった先入観や思い込みが残り、神聖視してしまうのではないのでしょうか。それらのあどけなかつた感情がやがて成長と経験を伴い、歪んだ情欲へと姿を変えて行くのです。そして自分の場合は、その過程の中に二次元が含まれていました。多くのオタクと呼ばれる方々がそうであると思うのですが。前述した通り、二次元は極限まで突き詰められた理想像です。作者がストーリーを進行させる以外では、自立的に変化しません。リアルにおける経験を経て、ぱんつがどういうもので、女性自身がそれをどういうふうに扱っているかを知っても尚、二次元でのぱんつは色褪せぬ少年時代のあの頃のままなのです。だからそこからはいい匂いがするし、無駄に汚れたりせず、二次元の女の子をさらに可愛らしく彩り、優しく包み込んでいるということが約束されているのです。しかしながら前述した通り二次元のぱんつはリアルを上回ることはほとんどありません。ただ懐かしい少年時代、性というものを意識し始め、ひたすらに好奇心をくすぐられたあの頃のままのぱんつが感情としてそこにあるのです。それがつまり、冒頭で述べた二次元補正です。このフィルタを通して、リアルのぱんつもまた懐かしき思春期の色を帯びて見えるわけです。あの頃の気持ちを忘れないための、いわば媒介と呼んでもいいでしょう。だから自分の場合、ぱんつの匂いを嗅ぎたい、触りたい、女の子特有の丸くて可愛らしいお尻を優しく包んで守ってあげて欲しいと思うのは、そういった自分の過去を重ねたが故の感情なのです。そしてそれはリアルと二次元を繋ぐ架け橋ともなるのです。理想と現実が、ぱんつにおいてだけは非常にあやふやな状態になっているわけです。現実のぱんつを見れば二次元を感じ、二次元のぱんつを見れば現実を感じる。両方を愛してこそ、初めて本当の意味でぱんつを理解することが出来ると言ってしまう過言ではありません。

そんな素敵なぱんつをどうしてトトリちゃんはいっていないのか。制作者にレオタードだと断言されてしまっている以上、それは避けようのない現実なわけですが、ミミちゃんとぱんつ半ずらして繋がればきっとトトリちゃんもぱんつの優しさに包まれて大満足！というのが今回の本の主旨だったと強引に締めたいと思います。また来世でお会いしましょう。

2010年11月某日 RYO





2010年 12月 31日 発行

印刷会社 PICO 様

発行：没後

著者：RYO

連絡先

<http://www.synapse.ne.jp/botugo/>  
mayaul@vesta.dti.ne.jp

本書の一部あるいは全部について、  
発行者の許諾を得ずに無断で複製・複写することを固く禁じます  
乱丁・落丁本はお手数ですが、上記の連絡先までご連絡下さい







トリのアトリエ〜アーランドの錬金術士2〜  
Fanbook  
BoTUGO R-Side 2010:Winter  
For Adult Only!